

同時発表：北陸地方整備局 金沢河川国道事務所、
能登復興事務所

令和7年12月12日
道路局国道・技術課

のうえつ
能越自動車道等について
令和7年内に震災前と同程度の走行性を確保

令和6年能登半島地震において、多段盛土の大規模崩壊28箇所を含め
た、大きな被害が発生した能越自動車道等については、令和7年内に震災
前と同程度の走行性を確保(急カーブ・段差の解消)すべく、順次復旧工事を
実施しています。(別紙-1、2)

また、能越自動車道等の、のと三井IC～のと里山空港IC、徳田大津IC～
(仮称)病院西ICについては、令和9年春迄の本復旧完了を予定していま
す。なお、残る区間については、大規模崩壊箇所の崩土撤去及び大型構造
物の施工等が順調に進んだ場合、令和11年春迄の本復旧完了を予定して
います。(別紙-1)

引き続き、一日でも早い本復旧完了に向け工程短縮を図っていきます。

区間	震災前と同程度 の走行性確保	本復旧完了予定
のと三井IC ～のと里山空港IC		令和9年春迄
のと里山空港IC ～徳田大津IC	令和7年内※1	令和11年春迄※2
徳田大津IC ～(仮称)病院西IC		令和9年春迄

※1 横田 IC の信号は残ります

※2 大規模崩壊箇所の崩土撤去及び大型構造物の施工等が順調に進んだ場合

＜問い合わせ先＞

道路局 国道・技術課 課長補佐

内田(内線 37842)、小野寺(内線 37852)

代表:03-5253-8111、直通:03-5253-8492



能越自動車道等 走行性確保・本復旧の見通し

- 能越自動車道等は甚大な被害のあった奥能登地域に繋がる復旧・復興の大動脈となる路線であり、復旧の費用や期間などを総合的に比較検討した本復旧方針を基に、原位置復旧や既存用地を活用した復旧を実施中であり、令和7年内に震災前と同程度の走行性確保(急カーブ・段差の解消)を予定しています。
- のと三井IC～のと里山空港IC、徳田大津IC～(仮称)病院西ICについては、令和9年春迄の本復旧完了を予定しています。
なお、残る区間については、大規模崩壊箇所の崩土撤去及び大型構造物の施工等が順調に進んだ場合、令和11年春迄の本復旧完了を予定しています。
- 引き続き、一日でも早い本復旧完了に向け工程短縮を図っていきます。

走行性確保のイメージ(のと里山海道14.7kpの事例)

【応急復旧後】



R6.7 対面通行確保

【走行性改善(昨冬)】



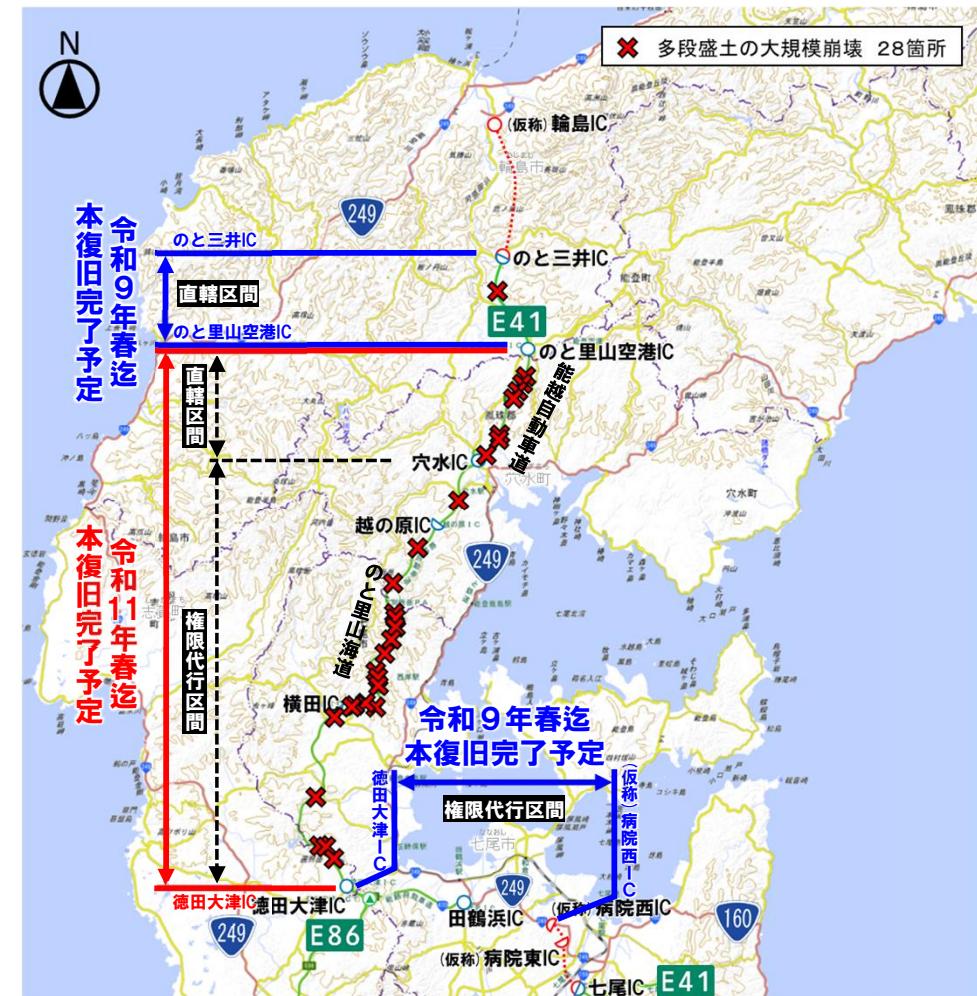
R6.12 冬期走行の安全性確保

【走行性確保(令和7年内)】



震災前と同程度の走行性を確保

本復旧の見通し



能越自動車道・のと里山海道 復旧状況

●能越自動車道等の災害復旧については、特設ページにて情報発信

↓特設ページのURLはこちら↓

https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/douro_kengendaikou/index.html

※下記メニュー等が閲覧可能です。

【工事進捗状況】

時系列で空撮での定点写真や、稼働中工事の作業状況を紹介しています。

<定点写真>



<作業状況>



【道路規制状況】

地図上で、復旧工事に伴う交通規制の状況や予定、区間等を確認できます。



【現在の走行状況】

ドライバー目線で撮影した動画を掲載しています。



【走行性の改善状況】

急カーブや段差等の改善状況を掲載しています。

14.7kp → 七尾市中島町小牧地先

